

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)柏の葉キャンパス新技術センター計画 C2棟 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.3	
Q1 室内環境					0.36		-	3.2	
1 音環境				4.4	0.15	-	-	4.4	
1.1 室内騒音レベル		事務室NC-40		4.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音				5.0	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		開口部遮音性能:T-2		5.0	0.60	3.0	-		
2 界壁遮音性能		Dr=50		5.0	0.40	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音		天井:ロックウール吸音板、床:タイルカーペット		4.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境				2.3	0.35	-	-	2.3	
2.1 室温制御				1.7	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.38	3.0	-		
2 外皮性能				1.0	0.25	3.0	-		
3 ゾーン別制御性				1.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境				2.9	0.25	-	-	2.9	
3.1 昼光利用				1.8	0.30	-	-		
1 昼光率				1.0	0.60	3.0	-		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策				2.0	0.30	-	-		
1 昼光制御				2.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度		500lx		4.0	0.15	3.0	-		
3.4 照明制御		1作業単位での照明制御かつリモコンの設置		5.0	0.25	3.0	-		
4 空気質環境				4.0	0.25	-	-	4.0	
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の建築材料を使用(70%)		4.0	1.00	3.0	-		
4.2 換気				3.6	0.30	-	-		
1 換気量		中央管理方式の空調設備、30m ³ /h人		4.0	0.33	3.0	-		
2 自然換気性能				3.0	0.33	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮		給気0と排気が6m以上離れている		4.0	0.33	3.0	-		
4.3 運用管理				4.5	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視		CO ₂ の手動計測、管理マニュアルの整備		4.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.4	
1 機能性				2.7	0.40	-	-	2.7	
1.1 機能性・使いやすさ				1.6	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				1.0	0.33	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33	3.0	-		
3 バリアフリー計画				1.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	-	-		
1 広さ感・景観				1.0	0.33	3.0	-		
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペースが執務スペースの6.3%、自動販売機の設置		5.0	0.33	-	-		
3 内装計画				3.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		OAフロア、壁掛け便器の採用など		5.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				4.3	0.30	-	-	4.3	
2.1 耐震・免震・制震・制振				4.6	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		最大層間変形角1/243(建築基準法に定められた50%増の耐震性)		5.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:タイルカーペット(20年)		5.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		厨房排気の全てに、SUSやガルバニウムダクトを採用		5.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		空調配管:配管用炭素鋼鋼管(白)・・・D		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				4.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		換気設備の系統区分、吊配管、災害時の優先運転・電源供給		5.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-		
3 電気設備		非常用発電機、UPSの設置など		5.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラスS以上		5.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		光・メタルケーブルの引込み、UHF・BS・CS、ネットワーク機器のUPS化		5.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			2.8	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			2.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率:0.12	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		事務室:14700N/m ²	4.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		OAフロア・ケーブルラックの採用	5.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		OAフロア・ケーブルラックの採用	5.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.34	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出		外構緑化指数:58.8%, 外来種に関する適切な対応, 自生種の保全に配慮した緑づくりの計画など	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮		段々状のルーフトラスを設けて圧迫感軽減なファザード採用、周辺環境との関係性を緑で繋ぐ	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	4.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.46	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.52	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			4.5	0.20	-	-	4.5
集合住宅以外の評価			4.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		中央監視/BEMS、熱源機COP・熱源システムCOP・熱媒搬送WTF評価	5.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		運用管理体制を組織化し、エネルギー消費量の目標値を設定	4.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	4.1
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水コマ、自動水栓に加えて省水型機器を過半に採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.4	0.60	-	-	4.4
2.1 材料使用量の削減		PHC杭、キャブリングパイル工法、ハイペースNEO工法など	4.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		鉄骨梁等に電炉鋼を使用	5.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		屋内用品(床材)、外装材、路盤材	5.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		LGS工法、OAフロアの採用	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用		ケミクリーTE(有害物質を含まない材料)の採用	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.6	0.70	-	-	
1 消火剤		窒素消火	4.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		押出法ポリスチレンフォーム(ODP=0、DWP=3)	4.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮		BEI=0.52	4.4	0.33	-	-	4.4
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		必要貯留量より多く貯留できる計画となっている	4.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		適切な量の駐輪場や駐車場の確保など	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		ゴミのストックスペースの確保、ゴミ分別容器の設置など	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	